

社会・地域の持つ社会的課題解決のプロセスに関する研究



経営学部副学部長
経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻
准教授

竹内 由佳
TAKEUCHI, Yuka

SDGs 関連項目



● 研究内容

今日の社会・地域の持つ社会的課題は、以前のものと異なり、様々な要因が絡み合った複雑な構造を持つものとなっている。それは現在の政府や行政の活動、企業からの寄附金といった従来の支援活動では解決が不可能となっているのが明確である。そのような社会的課題をマーケティングの手法により解決していくことは、ソーシャル・マーケティングとして研究が進められてきた。

現在の私の研究は、そのようなソーシャル・マーケティングを行う企業・団体にフォーカスを当てている。しかしながら、その対象は、ただマーケティングの手法により社会的課題を解決することを望むのではなく、マーケティングにより社会的課題を解決しながらも新しい支援の輪を繋げたり、それを更なる新しいビジネスに繋げていたりしている企業・団体である。すなわち、そのような企業は、マーケティングにより社会に何かを起こそうとしている企業・団体であると捉えている。そのような企業・団体の活動の動機やプロセスを明らかにしていき、どのようにして新しいビジネスや支援の輪が広がるのかを詳細に描きたい。

研究を進めていく中で、ゼミナールの学生やその他サークルや有志の学生たちと一緒にそのような企業・団体の活動に参加してだけでなく、持続的に継続的に地域を盛り立てていくことを目標とできればと考えています。

● 想定パートナー

- ・自治体、小中高校、小売業、地域の様々な団体（特に地域振興や活性化、移住など）
- ・自社の製品やサービスのマーケティング（販売そのものだけでなく、PR方法なども含めます）の方向性に悩んでいる事業者

● 応用分野

地域観光、移住推進、貧困などの地域において課題とされている分野についての事業

● 取組実績

- ・2019年～：社会を変えるマーケティングの実践「プロジェクト・ヘルシュ」により、シカの獣害問題解決のためのジビエ料理の開発及び提供
- ・2020年～：鳥取県内事業者のマーケティング支援活動（田中農場、北村きのこ園）
- ・2023年～：共同研究（株式会社サンマートとの商品開発）